

ひまわり

3

2023
MAR

もくじ

- 2 情勢 請願項目についてお話しします
- 3 地域とのつながり
亀岡福祉会ビジョン2025進捗を報告します！
- 4 きょうされん 第46次国会請願署名・募金運動に
ご協力をお願いします!!
ちょっと聞いてよ！第43回
- 5 今年度は日帰り旅行に行きました！
- 6 職員に聞きました！・時

今月号の表紙写真：デイセンターぼれぼれ（森田結菜さん(前)）
音楽の活動が大好きです！今日も音楽担当の職員と一緒に
ピアノの前でみんなと歌います！

社会福祉法人 亀岡福祉会

○法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蔭田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

HP <http://www.kamecomyu.net/>

戦争のない平和な社会、 憲法を守り障害のある人たちの 人権が大切にされる社会へ

井内祐治

YUJI INOUCHI

社会福祉法人 亀岡福祉会
事務長

平和なくして自由、平等、
基本的人権は成り立たない

ロシアのウクライナへの軍事侵攻が始まり、2023年2月24日で丸1年となりました。毎日のように現地からは凄惨な報道が続き、非常に深刻で悲しい事態の前に、私たちが戦争のない平和な社会へどんな行動がとれるのか胸を痛めています。ウクライナへの軍事侵攻を止めるために、国際的な外交努力も続いています。京都府議会、亀岡市議会をはじめ日本全国から軍事侵攻に抗議する声明や意見が次々に出され、平和を求める行動が広がっています。平和なくして人間の自由、法のものとの平等など、憲法が保障する基本的人権は成り立ちません。ロシアもウクライナも戦時下では、社会的な弱者といわれる人たちが人権を最も脅かされ、戦争の一番の被害者です。

私たち市民が政治に
参加していくことが大切

平和と人権の関係については、1948年世界人権宣言が「人類社会のすべての構成員の固有の尊厳及び平等で

奪い得ない権利を認めることが世界における自由、正義及び平和の基礎をなすものである」と述べて、人権の保障は平和が最も重要な条件と位置づけています。また憲法9条をめぐっては、立場が異なる見解もありますが、第二次世界大戦という悲惨な経験を繰り返したくない、戦争はしたくないという思いは、私たち多くの人たちの共通した願いです。人は時として、過ちを犯してしまいう存在ゆえに、国民が制定した憲法によって国家権力を制限し、人権保障を実現することを「立憲主義」と謳い、憲法について最も基本的で大切な考え方です。一方で、民主主義は永久に完成することのない理念だとも言われています。民主主義も時代と共に成長と発展を遂げ、私たち市民一人ひとりが、できる範囲で政治に参加していくことが民主主義の発展には欠かせません。今年も取り組んでいます。「きょううされん第46次国会請願署名・募金運動」はその一つであり、国政に対する願いを、直接国会に述べることでできる請願行動は、憲法第16条で国民の権利として保障されている大切な取り組みです。

私たちができることを
一つひとつ

今冬スタートした第46次国会請願署名は、「優生保護法問題を国の責任で全面解決させること」、「コロナ禍での障害のある人の命、障害児者事業所の運営を守ること」、「障害のある人の生活、障害児者事業所への物価高影響の緩和策を講じること」、「障害のある人が65歳になっても、必要な支援を自ら選んで、費用負担なく利用できるようにすること」を項目にあげています。この取り組みは、障害のある人や家族、事業所で働く職員の願いを地域のすみずみまで伝え、そして国会へ届ける大切な取り組みです。毎年継続して、46回を迎えるこの国会請願署名は、障害のある人が安心して暮らせる制度や施策を求めるものです。戦争のない平和な社会、憲法を守り障害のある人たちの人権が大切にされる社会へ、私たちができることを一つひとつ取り組んでいきたいと思えます。5月末までの予定ですので、みなさんぜひご協力・ご支援をよろしく願います。

地域とつながる



かめおかハーフマラソンでは沿道でランナーの皆さんを応援しました



稗田野町餅つき大会の様子



大谷高校野球部の皆さんにお声かけいただき、炊き出しをご馳走になりました

今年の冬も地域の色々な行事に参加させていただく機会があり、いずれも楽しいひとときを過ごすことができました。地域の皆さま、ありがとうございました！

亀岡福祉社会ビジョン2025 今年度の進捗を報告します!

VISION(ビジョン)とは、「視覚・視力」「洞察力」「空想・幻」「映像」等と共に「見通し・展望・構想」という意味があります。

亀岡福祉社会が40周年を迎えたときに「いままでの歩みを振り返る」ということと共に「これからの将来構想を考える」ということも同時に行いました。その中で作り上げたのが「亀岡福祉社会ビジョン2025」です。この中には2025年までに実現させたい夢や願いがたくさん詰まっていて、現在たくさんの計画が進行中です。その進捗状況の一部をお伝えします。

《新しい働く場作り》

少子化の時代ではありませんが、丹波支援学校から卒業される生徒さんの数は増加しています。その人数に対して、働く場の数が不足しています。そういった問題を解決するために新しい働く場作りを進めています。現在は国からの補助金を得るための申請が「通るか」「通らないか」の結果を待ちながら、働く場の中身づくりのための検討も進めています。

《資金作り》

先に記したように、国からの補助金を得るための申請をおこなっていますが、もう一方で自分たちでも資金作りをする活動も進めています。現在は海外で利用するための陶器を回収し買い取ってもらう取り組みをしており、先日2トンを超えました。

他にも進行中の計画がありますので、またの機会にそれらも報告させていただきます。